

第29回「天心記念茨城賞」授賞式について

本県では、毎年9月に開催されている日本美術院主催の再興日本美術院展覧会（院展）に、「天心記念茨城賞」を提供しています。

今年も再興第108回院展初日の令和5年9月1日（金）に選考を行い、染谷 香理 氏の「アシデンタル インタラクション」を「第29回天心記念茨城賞」の受賞作品として決定しました。

つきましては、授賞式を下記により実施しますので、ぜひ御取材ください。

記

- 1 日 時 令和5年10月25日（水） 午後2時00分から
- 2 会 場 茨城県庁行政棟22階 教育長室
- 3 出席者 （受賞者）染谷 香理（そめや かおり）氏
（県関係）県教育委員会教育長、県近代美術館長 他
- 4 内 容
（1）受賞作家及び作品の紹介
（2）賞状及び副賞目録の授与
（3）受賞作家謝辞

5 「天心記念茨城賞」について

天心記念茨城賞は、日本美術院を創設し近代日本画の創造に尽くした岡倉天心や、横山大観をはじめとする五浦の作家たちの業績を顕彰する「茨城県天心記念五浦美術館」の建設を記念するとともに、将来を嘱望される作家の育成を目的として、茨城県が平成7年度から、日本美術院主催の再興日本美術院展覧会（院展）に提供しているものです。

【本資料の詳細についてのお問い合わせ先】

教育庁総務企画部文化課 担当：鈴木、福田（芸術文化担当）
TEL：029 - 301 - 5454 E-Mail：geibun@pref.ibaraki.lg.jp



第29回天心記念茨城賞

「アクシデンタル インタラクション」

染谷 香理

作品内容（本人談話要旨）

院展と深い繋がりのある天心記念茨城賞を受賞し、大変光栄に思う。賞の名に恥じないよう制作活動が続けて行かなければと身の引き締まる思い。伝統を踏襲するだけでなく、新しいものを自分らしく作っていく大切さを実感している。

タイトルの「アクシデンタル インタラクション」は、意図しない相互作用。2021年4月から8月にニューヨークで初めて個展を開催した際に、現地での交流を通じて互いに刺激しあい、日本文化や日本画について再考するきっかけとなったことが、今回の作品のインスピレーションにつながった。日本文化の特徴は様々なテーマの共存だと考えており、さまざまな絵画の技法を響き合わせて作品を表現した。